

宮本太郎『生活保障—排除しない社会へ』岩波新書 2009年

## 1. 目次

はじめに

第一章：断層の広がり、連帯の困難

第二章：日本型生活保障とその解体

第三章：スウェーデン型生活保障のゆくえ

第四章：新しい生活保障とアクティベーション

第五章：排除しない社会のかたち

おわりに

## 2. 著者紹介

宮本太郎 みやもと たらう

1958年 東京都生まれ

1988年 中央大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得後中退  
ストックホルム大学客員研究員、北海道大学法学部教授などを経て、  
現在 中央大学法学部教授、博士（政治学）

専攻—比較政治、福祉政策論

著書—『福祉国家という戦略』

## 3. 選定理由

- ・ 各国の雇用と社会保障の結びつきを明らかにする
- ・ 現在の日本型生活保障とはどんなものか
- ・ なぜ、日本型生活保障の解体が進んでいるのか
- ・ 日本と諸外国との生活保障制度の比較
- ・ スウェーデン型生活保障の仕組みと現状を知る
- ・ スウェーデン型生活保障が直面している困難を明らかにする
- ・ 新しい生活保障に必要な条件とは何かを知る
- ・ アクティベーション<sup>1</sup>とベーシックインカム<sup>2</sup>のアプローチについて考える
- ・ 今後の日本の生活保障のあり方を考える

---

<sup>1</sup> activation

<sup>2</sup> basic income